

平成31年度・令和2年度  
渋谷区教育委員会研究指定校

# 「主体的・対話的で深い学び」 の視点からの授業改善

渋谷区立笹塚小学校

# 研究の概要

生産年齢人口  
の減少

グローバル化

## 学習指導要領

AIの進化

予測困難な  
時代

仕事・ライフスタイルの大きな変化に対応

**学校教育の在り方も変化する必要がある**

# 研究の概要

## 中教審 論点整理

『主体的・対話的で深い学びの  
実現』に向けた授業改善の推進

笹塚小学校で特に大切にしてきたもの

教科横断的

問題解決的  
な学習

多様な学び方

教師の  
かわり方

# 研究の概要

平成29年度 研究主題

『児童が主体的・対話的に学ぶ道徳授業の創造』

◎課題意識・目的意識をもたせる必要性

平成30年度 研究主題

『主体的・対話的で深い学びを通して  
教科のねらいに迫る授業づくり』

～課題意識・目的意識をもたせる学習過程の工夫～

(体育科「器械運動」・国語科「話すこと 聞くこと」)

- ◎児童が学習の見通し・  
ゴールイメージをもつ
- ◎自己決定できる

- ◎教師がねらいを明確にもつ
- ◎価値のある考えや学び方を、  
適切な問いと価値付けで  
ファシリテーションする

# 研究の概要

教師が主体の授業から、児童が主体の授業へ

授業の在り方

児童の具体的な姿

- ➡ 価値のある考え、学び方を想定
- ➡ 適切な問いと適切な価値付けする

# 研究の概要

## 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編

『「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けた授業改善の推進』  
『児童に目指す資質・能力を育むために「主体的な学び」「対話的な学び」  
「深い学び」の視点で、授業改善を進めるもの』

◎**考えの変容を捉えさせ、実感させる**

「国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、  
児童の言語活動を充実すること」

◎**教科横断的においても国語科が重要**

平成31年度 研究主題

『**主体的・対話的で深い学びを通して**  
**教科のねらいに迫る授業づくり**』  
～学習の目的意識をもち、自分の考えを再構築できる子～  
国語科「読むこと(文学的な文章)」

# 研究の概要

平成31年度 研究主題

『主体的・対話的で深い学びを通して

教科のねらいに迫る授業づくり』

～学習の目的意識をもち、自分の考えを再構築できる子～

国語科「読むこと」～文学的な文章を通して

◎教師の理解度・指導力の差

令和2年度 研究主題

『主体的・対話的で深い学びを通して

教科のねらいに迫る授業づくり』

～国語科「読むこと」文学的な文章を通して～

◎笹塚小学校においての「主体的・対話的で深い学び」  
に向けた授業改善の明確な視点と取組の作成

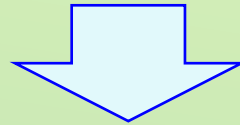
# 研究の概要

全教科における笹塚小学校の  
『「主体的・対話的で深い学び」に向けた  
授業改善の視点』の明確化

主体的な学びの視点

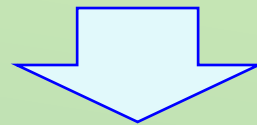
対話的な学びの視点

深い学びの視点



『「主体的・対話的で深い学び」に向けた  
授業改善の視点』への授業における取組

3つ学びの視点にお  
ける授業改善の取組



国語科「読むこと(文学的な文章)」  
における授業づくり

授業改善の取組に  
対する国語科の取組



# 研究の視点

## 全教科における笹塚小学校の『「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善の視点』の明確化

### 《主体的な学びの視点》

- ◎学習の目的意識をもっている
- ◎学習の見通しをもっている
- ◎学習のゴールイメージがある
- ◎学習の必要感をもっている
- ◎学習に興味・関心がある
- ◎自分の考えをもっている

### 《対話的な学びの視点》

- ◎児童が、児童と必要感をもって対話している
- ◎児童が、教師と必要感をもって対話している
- ◎児童が、教材と必要感をもって対話している

### 《深い学びの視点》

- ◎自分の考えを再構築している
- ◎各教科の見方・考え方を働かせている
- ◎比較・関連付けてより深く理解している
- ◎情報を精査して考えを形成している

# 研究の概要

## 『「主体的・対話的で深い学び」に向けた 授業改善の視点』への授業における取組

### 【導入の工夫】

- ◎学習のスタートで、児童に《主体的な学びの視点》をもたせる導入を吟味する

### 【具体的な学習活動の想定】

- ◎《主・対・深の視点》や授業のねらいに応じた児童の学習活動を具体的に想定する

### 【学習計画の工夫】

- ◎単元を通して児童の学習意欲が継続し、児童の必要感と実態を考慮して学習計画を立てる《主体性の継続・対話の必要性》

### 【学習形態の工夫】

- ◎ねらいに即した学習形態や、児童の必要感に応じた対話の時間や学習形態を設定する《必要性のある対話》

### 【振り返りの工夫】

- ◎考えを再構築させ、自己の変容や、考えの深まりを実感できる適切な振り返りをさせる《深い学びの実感》

### 【系統性を意識した指導】

- ◎各学年で身に付けさせる力を明確にする
- ◎6年間での系統性をもたせる

全ての教科において、この6つの  
視点を意識して授業改善を行う

# 研究の概要

## 国語科「読むこと(文学的な文章)」の授業づくり

### 【導入の工夫】

- 教材との出合わせ方
- やってみたい・考えてみたい・話し合ってみたいと思わせる
- 教材や問いに対する自分の考えをもたせる
- 既習の文学的な文章の学び（読み方など）を結びつける
- 児童の意欲を引き出したり、見通しをもたせたりするために学習計画を立てさせる等

### 【学習計画の工夫】

- 実態やねらいに応じた学習計画を立てる
- 単元を通して言語活動を設定して、ゴールイメージをもたせたり必要性を感じさせたりする
- 児童の読みに合わせて意欲や必要感に応じて言語活動を設定する
- どんな活動が必要か（話し合いやグルーピングなど）が明確になる課題の設定等

### 【振り返りの工夫】

- 1 単位時間や単元を通した振り返りの時間を設ける
- 振り返りを記述させて初めの考えと比べての変容や読みの深まりを実感させる
- 言葉に着目して振り返りをさせる等

### 【具体的な学習活動の想定】

- 児童の反応や思考を予測し、具体的な活動を想定する
- ねらいに応じた問いを精選し、児童の活動や言葉に対する気付きなどを適切に価値付けたり、必要な指導を予め検討したりする
- どのような言葉や姿で交流しているかを具体的に想定し、どのような意見を取り上げていくかをあらかじめ決めておく等

### 【学習形態の工夫】

- 個人で考えさせ時間と、ペアやトリオ、グループで話し合わせる時間をねらいに応じて意図的に設定（共有）する
- 児童の実態や学習に応じた対話の時間を設定する
- 同質・異質・人数など、目的によって形態を変える等

### 【系統性を意識した指導】

- 国語科のねらいに応じた各学年の言語活動を作成する
- 6 年間の系統立てた言語活動を作成する等

# 分科会構成

## 授業構成分科会

【導入の工夫】

【学習計画の工夫】

【振り返りの工夫】

【学習形態の工夫】

【具体的な学習活動の想定】

◎様々な授業の行い方を工夫

## 言語活動分科会

【系統性を意識した指導】

◎国語科「読むこと（文学的な文章）」の言語活動例を作成

◎系統性を意識した言語活動を設定

# 分科会の取組

## 授業構成分科会

発言する児童が  
いつも同じ…

児童によって学び  
の差が大きい。

**【授業改善】とは、  
どのようなことを  
するのだろうか？**

コロナ禍における  
指導の工夫とは？

主体的・対話的に  
学ばせるには？

**分科会の取組**

**授業構成分科会**

# **授業改善の取組**

**【導入の工夫】**

**【学習計画の工夫】**

**【具体的な学習活動の想定】**

**【学習形態の工夫】**

**【振り返りの工夫】**

**実践事例については、笹塚小学校ホームページに掲載中！**



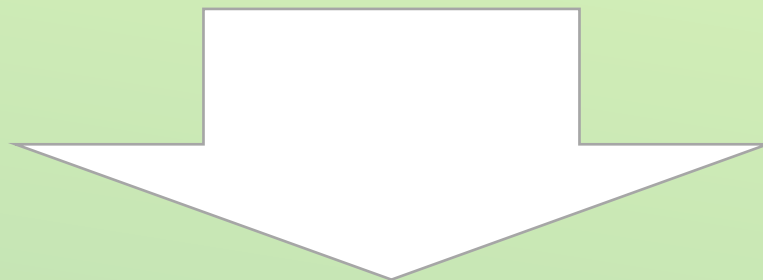
# 分科会の取組

## 言語活動分科会

① 様々な言語  
活動の特徴

② 身に付け  
させたい力

③ 教材の特性



①②③を踏まえて  
言語活動を設定する

# 低学年の取組

## 言語活動分科会

### ①言語活動

音読劇

### ②身に付けさせたい力

内容の大体を捉え、登場人物の行動を具体的に想像しながら読むことができる。

### ③教材

1年「くじらぐも」



## 実践

- ・ 単元を貫く言語活動として音読劇を設定した。
- ・ 登場人物の気持ちや場面の様子を教科書の叙述をもとに考えられるようにした。
- ・ 読みながら新しいセリフを付け加えたり動作化するなどして読み進めていき、読むことに関する力を付けさせた。



# 中学年の取組

## 言語活動分科会

### ①言語活動

感想交流カード

### ②身に付けさせたい力

登場人物の行動や気持ちについて  
叙述を基に捉え、複数の叙述を根拠にすることで具体的に想像し、  
内容を説明したり、考えたことを  
伝え合ったりできる。

### ③教材

3年「ちいちゃんの  
かげおくり」



## 実践

- ・児童が主体的に読み深められるように、初発の感想を交流し合い、学習を通して学びたいことを確認して単元の学習計画を立てた。
- ・初発の感想と学習を通しての自分の考えを比べることで、自分の考えの変容を捉えられるようにした。

# 高学年の取組

## 言語活動分科会

### ①言語活動

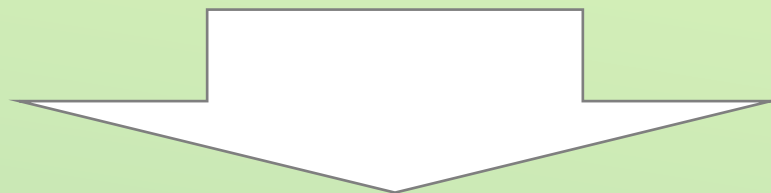
リーフレット作り

### ②身に付けさせたい力

文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。

### ③教材

5年「たずねびと」



## 実践

- ・児童が主体的に読み深められるように、初発の感想や疑問などについて話し合っ、単元の学習計画を立てた。
- ・読み深めた視点や対話で広げた自分の考えを根拠に、「たずねびと」で作者が伝えたかったメッセージ（主題）について考え、リーフレット形式にまとめて交流した。

# 実践事例 (1年生)

単元名 おもいうかべながら、よもう  
「くじらぐも」

## 【導入の工夫】

- ・単元の終末に「おんどくげき」を行うという言語活動を設定し、学習意欲を高めた。

## 【学習計画の工夫】

- ・授業や家庭学習で繰り返し音読させた。

## 【具体的な学習活動の想定】

- ・叙述をもとに読ませるため、教科書のページや行を確認した。
- ・読んで思い浮かべたことを言語化させた。

## 【振り返りの工夫】

- ・授業の終わりに振り返りの時間を設定した。
- ・はじめの感想とおわりの感想の交流させ、振り返らせた。

# 実践事例 (1年生)

単元名 おもいうかべながら、よもう  
「くじらぐも」

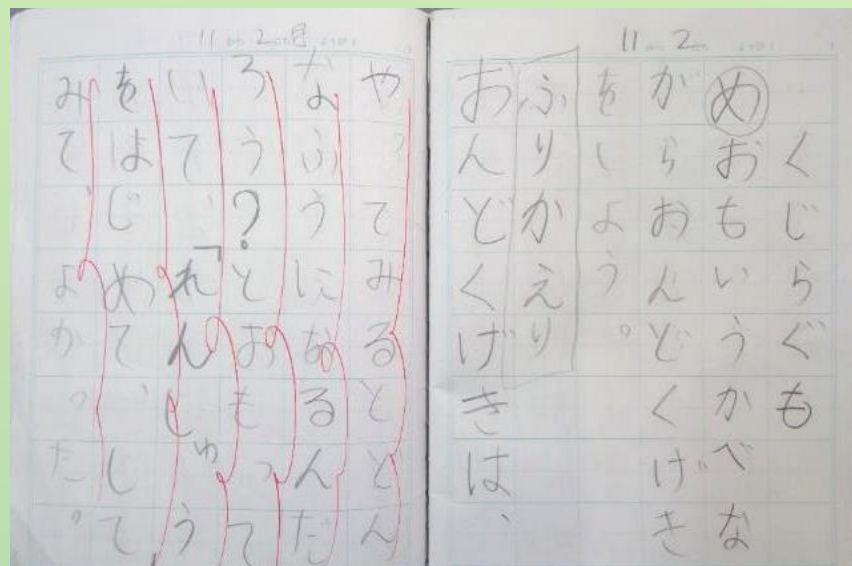
## 【学習形態の工夫】

交流のよさに気づき、交流の仕方を学んだ。



## 【振り返りの工夫】

毎時間、めあてに対して振り返らせることで、学んだことを確認した。



# 実践事例 (2年生)

## 単元名 そうぞうしたことを、紙しばいであらわそう 「お手紙」

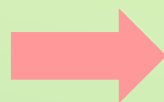
### 【導入の工夫】

第1時に紙芝居を使って読み聞かせをすることで、物語の世界に入り込みやすくする。



### 【学習計画の工夫①】

想像したことを紙芝居で表すというゴールを意識して、登場人物の行動や気持ちを視点に場面分けをさせる。



### 【学習計画の工夫②】

並行読み聞かせを行い、同シリーズを読むことで登場人物についてより深く想像できるようにする。





# 実践事例 (2年生)

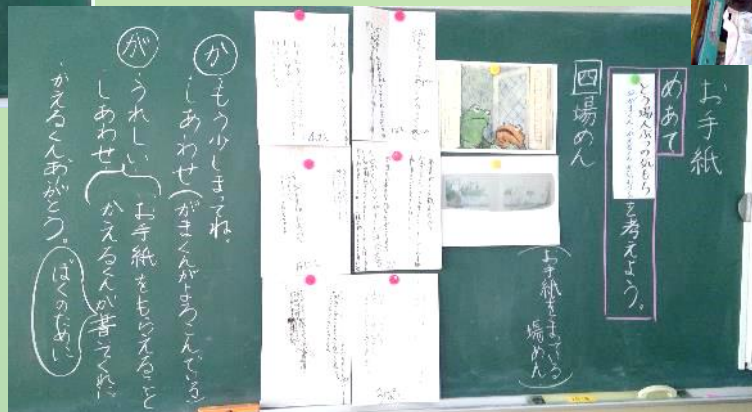
## 単元名 そうぞうしたことを、紙しばいであらわそう 「お手紙」

### 【具体的な学習活動の想定】

二人の悲しい気分や、幸せな気分について問うことで、がまくんとかえるくんの心情の違いに気付かせる。

### 【学習計画の工夫③】

紙芝居の練習をする前にそれぞれの役についてどのような台詞を付け足すかやどのような読み方にしたらよいかを話し合うことで、自信をもって表現できるようにする。



# 実践事例 (3年生)

## 単元名 物語の感想を書こう 「ちいちゃんのかげおくり」

### 【系統性を意識した指導】

教師は他教材を用いた学習での重点と、本教材を用いた学習での重点をあらかじめ把握し、計画に盛り込んだ。

### 【導入の工夫】

初発の感想を読み合い、互いの感想の共通点や相違点から、物語をもっと詳しく読みたいという意欲を引き出せるようにした。

### 【具体的な学習活動の想定】

読み深める観点について児童が考えやすくなるように発問を精選した。

### 【学習計画の工夫】

教師と児童で話し合いながら読み深める観点を明らかにした。その際、互いの初発の感想を踏まえて考えることが出来るようにした。

# 実践事例 (3年生)

## 単元名 物語の感想を書こう 「ちいちゃんのかげおくり」

### 【学習形態の工夫】

必要感をもって対話の形式を選択できるよう、全教科の学習で教材との対話、自己との対話、人との対話のよさやねらいを共通理解し、必要感に応じて学習の仕方を選択する場面を繰り返し設定してきた。



### 【振り返りの工夫】

第2次の学習で読み深めたことについて、新しい気づきや、より理解が深まったことを中心に学習感想を授業毎に記録した。



# 実践事例 (4年生)

単元名 作品に込められたメッセージを想像し、感想や考えをもとう  
「一つの花」

## 【学習計画の工夫】

- ・ 目的を明確化
- ・ 1 単位時間内での考えの再構築を繰り返す。
- ・ 単元を通した考えの再構築につなげる。

## 【具体的な学習活動の想定】

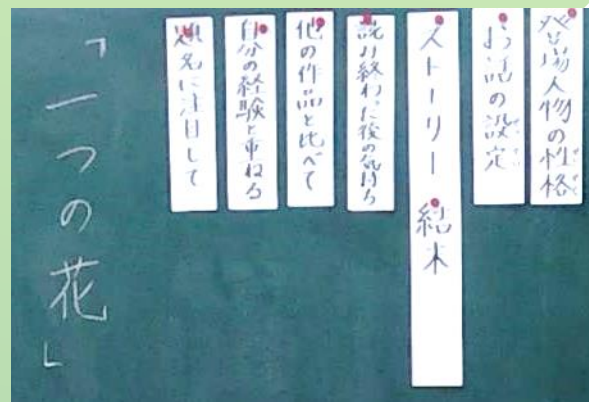
- ・ これまでの読みの学習を振り返ってから教材を読ませる。
- ・ 初発の感想を想定しやすい。

## 【導入の工夫】

- ・ 詳しく読みたい観点を絞ることで、単元を通して身に付けたい力を明確にする。

## 【系統性を意識した指導】

- ・ 同じ作者の作品を読むことで、作者や作品の理解を深めさせる。  
→ 本単元では、「一つの花」と「すみれ島」を読み比べた。



# 実践事例 (4年生)

単元名 作品に込められたメッセージを想像し、感想や考えをもとう  
「一つの花」

## 【学習形態の工夫】

- 考えを交流する目的をもたせることで、自分たちで交流する学習形態を決定できる。



## 【振り返りの工夫】

- 「自分はどうか」という評価読みの観点で振り返ることで、自分の考えをもたせる。



# 実践事例 (5年生)

単元名 物語の全体像をとらえ、考えたことを伝え合おう  
「たずねびと」

## 【具体的な学習活動の想定】

児童が必要感や目的意識をもって  
友達と対話ができるようにする。

## 【導入の工夫】

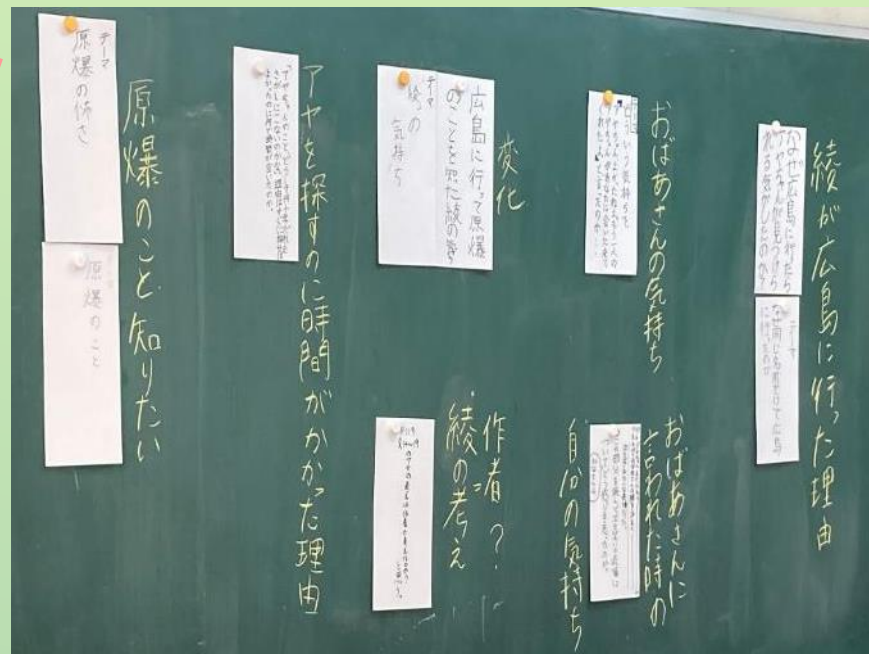
単元を通して身に付ける力の見通し  
をもって単元計画を立てる。

## 【系統性を意識した指導】

これまで物語文で身に付けた力や  
読み方について振り返る。

## 【学習計画の工夫】

初発の感想から、児童の疑問や  
読み深めたい観点を分析・整理し、  
それに基づいて児童と話し合  
いながら学習計画を立てる。

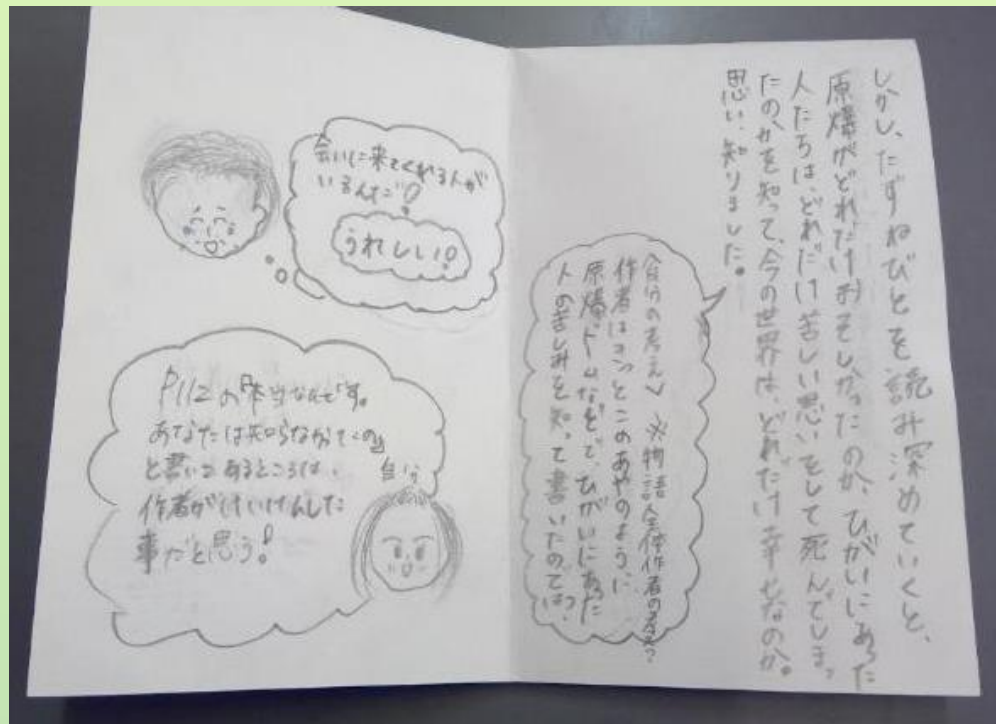


# 実践事例 (5年生)

単元名 物語の全体像をとらえ、考えたことを伝え合おう  
「たずねびと」

## 【学習形態の工夫】

ペアやグループでの話合いや全体交流など、目的に合わせてどのように進めたいのか児童と話し合い、決定する。



## 【振り返りの工夫】

自分もっていた考えが、友達と話し合ったことで、どのように広がったか振り返る。



# 実践事例 (6年生)

単元名 作品の世界をとらえ、自分の考えを書こう  
**「やまなし」**

## 【学習計画の工夫】

「やまなし」に描かれた世界について、表現や構成、作者の思いなどを自分なりに捉え、文章にまとめて交流するようにする。

## 【導入の工夫】

宮沢賢治について知っていること、題名や写真から、思い浮かべた情景について、初発の感想を書く。

## 【系統性を意識した指導】

これまで物語文で表現の特徴を考えたり、人物像や作品の全体像を捉えて自分の考えをまとめたりした経験を、本単元でも生かす。

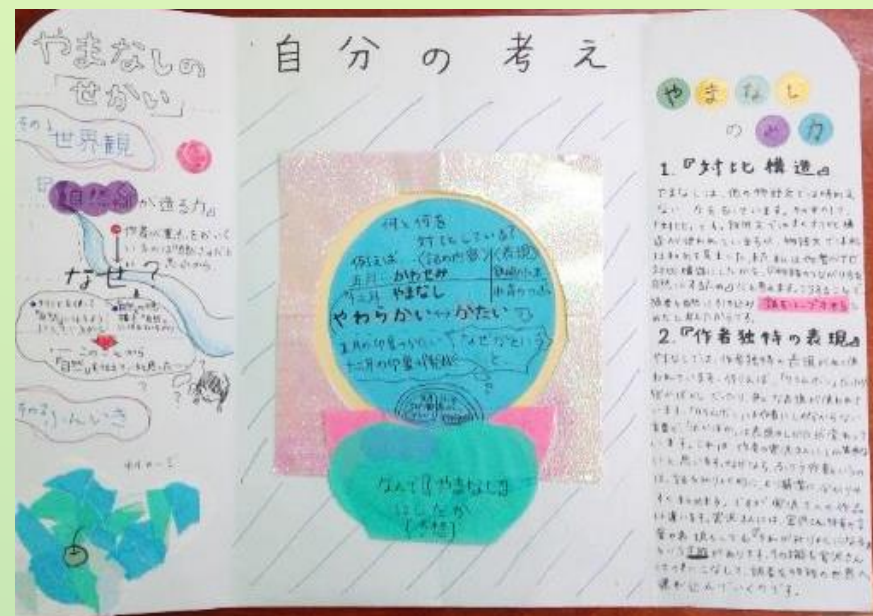
## 【具体的な学習活動の想定】

「イーハトーヴの夢」を参照しながら自分がこの作品を読んで何を感じ、何を考えたかをリーフレットにまとめ、友達と見合って交流する。

単元名 作品の世界をとらえ、自分の考えを書こう  
「やまなし」

## 【学習形態の工夫】

考えをまとめたリーフレットを作成し、交流することで自己の考えがより深まるような学習形態を工夫する。



## 【振り返りの工夫】

友達との共通点や相違点に目を向け、考えを広げることができたか、自分で振り返る。



# 実践事例 (その他の教科)

## 【導入の工夫】

リズム打ちをしたときに言葉を重ねて行った以前の活動を思い出させる。

## 【具体的な学習活動の想定】

次時のアンサンブルづくりで、つなげ方や重ね方の工夫ができるように、例示から理解を確実にさせる。



# 音楽科【言葉でリズム アンサンブルづくり】 (4年生)

## 【学習形態の工夫】

グループ人数を5～6人にして、どの児童も考えを出しやすいように、また、いろいろな考えが出やすいようにする。



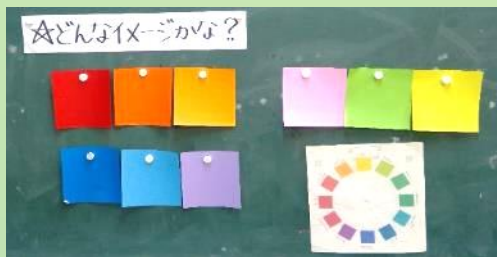
## 【振り返りの工夫】

発表の場面で工夫したところや気に入っているところを紹介し、互いの作品のよさや面白さを確認し合う。

# 実践事例 (その他の教科)

## 【導入の工夫】

- ・色見本を提示し、今までの経験や身の回りのものから様々なイメージがもてることに気付かせる。
- ・互いの考えや意見を聞くことで、多様なイメージがあることに気付くようにする。



## 【学習形態の工夫】

友達との必要性があるかわかりが生まれるような教材の大きさ、机の配置、活動の様子が見やすい動線や環境の整備をする。

# 図画工作科 【カラフルウォーター パラダイス】（4年）

## 【学習計画の工夫】

納得がいくまで何度もやり直しのできる教材(色水)を提示する。



## 【振り返りの工夫】

自分がつくった作品で友達に紹介したい色や色の重なりのアピールポイントを決めることを通して、自分の作品を振り返ることができるようにする。



## 成果と課題

## 授業改善の成果 (教員意識調査より)

児童の3つの資質・能力の姿を明確  
にもつことで見取りやすくなった。  
(若手教諭)

子供たちが学習に対して目的意識を  
もてるように、掲示の仕方や問いかけ  
方を意識するようになった。  
(中堅主任教諭)

学習形態は子供たちが必要と感じて  
いるものでなければ意味がないことが  
分かった。  
(若手教諭)

子供の「考えたい」でつくる授業の  
良さに気が付いた。  
(若手教諭)

授業のねらいに合わせてどのように  
作っていくか考え、児童との対話や興  
味・関心をシミュレートするようにな  
った。  
(中堅主幹教諭)

目的意識・相手意識をもたせ、授業  
者としてファシリテーターの役割を意  
識するようになった。(中堅主任教諭)

指導事項を各学年で系統立てて理解  
するようになった。(中堅主任教諭)

## 成果と課題

## 授業改善の今後の課題 (教員意識調査より)

導入における意識付け、意欲を継続しながら学習させることが難しい。

(若手教諭)

個人差が出ないように児童に必要感をもって対話させたい。

(中堅主任教諭)

学習課題を内発的・外発的に設定する見極めが難しい。

(中堅主任教諭)

こちらの想定が甘く、ぼんやりした授業になってしまっているので、3つの資質・能力を意識して授業改善をしていきたい。

(若手教諭)

児童の反応によって授業を構成することと、計画的に進めていくことのバランスが難しい。

(中堅主任教諭)

児童の考えを広げるような問い返しを工夫したい。

(中堅主任教諭)

**ご清聴ありがとうございました**

